

はリンク

はWAMNETの事業者情報にリンク

事業所名 グループホーム 大正橋

日付 平成19年8月16日
特定非営利活動法人

評価機関名 ライフサポート

評価調査員 在宅介護経験9年

評価調査員 老人保健施設介護実務経験6年、介護支援
専門員経験6年

自主評価結果を見る

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)

「このあたりの地域性なのか、高齢者の1人暮らしが多く交流も少ない事に気付き、このホームを立ち上げたんです。今まで旅館をし、お客様のお世話をさせていただいてましたから、今度は高齢者の方のお世話をさせてもらいたいと思ひまして…」

この地域にしっかり根付いていた老舗旅館の心意気そのままこのグループホームに息づいていると感じた代表者の言葉は、私の胸を打っただけではなく、その日の暮らしのあちこちに実感させられるものがあった。

「職員は介護のベテランの人も居ますが、私達は初心者ですから」と控え目に話す「お兄さん」こと施設総括は「小規模施設ならではのきめ細かさで、その方その方に合ったご希望に添える支援をしていきたい」と話す。

開設1年に満たないのに、この二人の熱い思いはかなりの部分で実現出来ているのではないかと思われた。居室に入らせてもらった さんは、認知症の症状はみられるがまだまだ自立した生活ができています。洗濯は自分の衣類をホームの洗濯機を使って自分でこなし、自分の居室に干してある。色々と本人が説明してくれる話を聞いてみると、グループホームに居るといふよりケアハウスに住んでいる感覚だ。

ある目的を持って外出したいと言う さんに対しても、可能な限り本人の希望に添えるよう支援をしている。

玄関を一步踏み出せば、車がスピードをあげて走っているが、頑張っただけはしていない。その決断と職員全員の気配り、目配りを思いやる事が出来る。

このような「ぎりぎりのライン」まで本人の希望を受け入れ、尊厳を重く見た姿勢や方針、そして実行が見られた。「介護の質を高めたい」と何度も話す代表者や総括に「一年も経過していないのによく頑張っているじゃないですか」と私は繰返し話した。

また、職員が利用者により寄り添い、コソコソお喋りしたり、ウンウンと話を聞いてあげる場面、耳搔きをしてもらってうっとりした顔の さん、このホームの内輪話のあれこれを山ほど聞かせてくれる さん等に「いいホームだなあ」と、ほのぼのとした気持ちになる一日となった。

特に改善の余地があると思われる点

(1) 今後利用者の状況が変化し、重度化していく事も考えられます。今からその対策として、日々の意見交換の内容を形に残しケアプランにつないでいく方法、情報共有を徹底する方法等視野に入れておかれてはどうでしょうか。

(2) 代表・総括・職員でよく話し合い、実現可能な小目標をきちんと設定し、目標を果たし、お互いに達成感を喜び、次のステップへつないでいくという過程をはっきりさせてみてはいかがでしょうか。

2. 評価結果(詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	自主評価に関して…このホームの理念を実現する為のチームケア会議は毎月1回定期的に実施しているが、不十分と思われるので改善したいという事である。しかし、全員が集まれるチャンスはこれ以上取り難い、総括的な理解は共有出来ていると思われるので、日常的に意見交換の場を設定し考え合える方法を試行錯誤して欲しい。さらにノート等にメモし後の参考として残してはどうか。		
記述回答	全体を通して…「真心」「手作り」をモットーとしたホームを全員で目指している。その為の具体的な事例を、ホーム全体と利用者一人ひとりに分かり易い言葉で挙げてみたい。この時、利用者本人の希望も聞いてみたい。グループホーム「大正橋」が目指しているものが、こういった努力や支援によって、より一層明らかになるだろう。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	自主評価に関して…特に改善事項なし。 全体を通して…限られた敷地内でのホームなので、共有空間は1階、居室は2・3階と、見守りに工夫が必要な建物であるが、居間の段階ではセンサー等も利用して落ち着いた生活が出来ているようだ。昼間は大半を過ごす居間はソファがあちこちに多く置かれ、それぞれが居場所を持ってのんびりと過ごしている。「明るい色が大好き」と言うさんの絵の製作の集中力は年を感じさせない。この人のような状況を一人でも多く見つけ、生きがいに結び付けて欲しい。今の状況なら、もっと見つけられるかも知れない。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	自主評価に関して…現在も外出のチャンスは多く作っているが、今以上に、特に家族と相談、協力して増やしたいと願っている。今は未だ、意思表示が十分可能な人が多いので、本人・家族・職員が共同して企画するイベントや旅行も出来るのではないだろうか。働きかけ次第で意見交換や企画も可能ではないかと思われる。 全体を通して…日頃のお喋りやつぶやきの中から本人の心の内を受け止め、職員が共有し、利用者主導の生活展開の一つでも多く発展できる道を探してみよう。「今しか出来ない事」は「今」やらねば実にもったいないと思う。身体介護の為のスキルアップも欠かせないが、心の交流を支援する事も大切だろう。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
記述回答	自主評価に関して…サービスの質の向上を考える時、ホームのパートナーとして存在すべき家族との関係性は決まらぬが、殆んど毎日来てくれるような家族も居り、道は決して遠くはないと思う。近い内に今の計画を実行に移して欲しい。ホーム内の情報を家族とも共有し、共に歩んで行けば何かあっても問題は解決し易いだろう。 全体を通して…近隣の人達・包括支援センターや福祉課の人達など非常に協力的で心強い味方だ。利用者が入居後次々と状態が改善されていく実態もよく見てもらって、さらに強力なネットワークを築いていって頂きたい。		

